



令和4年12月2日

【地域の元気応援プロジェクト】

本学の学生が音戸渡船乗場跡地のデザインを考え、
最終成果を発表します（12月7日 呉市音戸町）

情報提供

「日本一短い定期航路」として知られてきた「音戸渡船」が昨年度廃止となり、地区では、その乗場（通称：渡し場）跡地の活用方法やデザインの検討が必要となりました。そこで、本年度の大学院科目「環境・建築設計Ⅱ※」で、建築学プログラムの大学院生たち（11人）が、この渡し場跡地のデザインを行うこととなりました。

これまで、現地調査、地区の方々へのヒアリング、デザイン検討を行い、11月11日（金）には、現地のカフェ「天仁庵（てんじんあん）」にて、音戸町在住の皆さん、地元自治体（呉市）の皆さん、建築・まちづくりの専門家の方々をお迎えし、中間発表会を行いました。この中間発表会では、様々な視点（住民視点、観光視点、専門家視点）からの、感想やアドバイスをいただきました。

いただいたご意見をもとに、提案のブラッシュアップを進め、最終成果をまとめました。このたび、下記のとおり最終成果発表会を開催しますので、是非取材いただきますようお願いいたします。

記

- 【日 時】 2022年12月7日（水）15時～17時（予定）
【場 所】 『天仁庵（てんじんあん）』（広島県呉市音戸町引地 1-2-2）※下記地図参照
【内 容】 「音戸渡船」の乗場跡地の活用方法やデザインの検討についての最終成果発表
【参加者】 発表者：大学院先進理工系科学研究科 建築学プログラム 大学院生 11人
 ゲスト（予定）：数田祐一氏（音戸町・天仁庵）
 音戸町魅力化推進協議会
 呉市産業部観光振興課
 建築・まちづくり専門家 他

※「環境・建築設計Ⅱ」：先進理工系科学研究科（建築学プログラム）の大学院向け科目であり、広島県内の地域の建築・まちづくりプロジェクトを題材に、地域の皆さんとコミュニケーションを通じた、デザイン実践教育を行うPBL（Project Based Learning）型科目です。例えば、2020年度は、東広島市営繕課等の皆様のご協力をいただきながら、広島大学中央口交通結節点（バス待合室とその周辺）を題材とし、現在は、その成果（デザイン提案）をもとに建設を進めています。



【お問い合わせ先】

大学院先進理工系科学研究科 教授 田中 貴宏

Tel : 082-424-7866

E-mail : ttanaka@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数 : A4版 2枚 (本票含む)